

各位

会社名 西川ゴム工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 福岡 美朝
 (コード番号 5161 東証二部)
 問合せ先 取締役管理本部長 休石 佳司
 (TEL: 082-237-9371)

2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期第2四半期累計期間(2020年4月1日~2020年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値について差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2021年3月期通期(2020年4月1日~2021年3月31日)業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結

2021年3月期第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,900	△1,300	△1,000	△700	△35.75
今回実績値 (B)	32,765	△782	△509	△864	△44.15
増減額 (B-A)	865	517	490	△164	
増減率 (%)	2.7	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	49,496	3,874	4,109	2,573	131.44

2021年3月期通期業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	73,300	△1,000	△400	△300	△15.32
今回修正予想 (B)	82,700	2,600	3,400	1,100	56.16
増減額 (B-A)	9,400	3,600	3,800	1,400	
増減率 (%)	12.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	97,267	6,848	7,489	4,486	229.15

2. 個別

2021年3月期第2四半期（累計）業績予想値と実績値との差異（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,600	△1,200	△100	100	5.11
今回実績値 (B)	17,053	△863	1,356	1,205	61.56
増減額 (B-A)	453	336	1,456	1,105	
増減率 (%)	2.7	—	—	1,105.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	25,033	1,410	2,156	1,685	86.11

2021年3月期通期業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	38,800	△1,100	900	800	40.90
今回修正予想 (B)	40,500	100	3,900	3,200	163.42
増減額 (B-A)	1,700	1,200	3,000	2,400	
増減率 (%)	4.4	—	333.3	300.0	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	48,828	2,218	5,133	4,069	207.84

3. 差異および修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大により急激な景気悪化の影響を受けましたが、中国をはじめ、各国で経済活動を再開していることなどから各セグメントにおける受注が想定を超える伸びで推移したことにより、売上高、営業利益、経常利益ともに前回発表予想を上回る結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、海外子会社の法人税等調整額の変動により、前回発表予想を下回る結果となりました。

個別業績につきましては、国内での受注が回復してきていることに加え、年初から徹底した経費削減を推進してきたことや、子会社からの中間配当を実施したことにより、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回発表予想を上回る結果となりました。

これらを踏まえ、連結・個別ともに通期の売上高・各利益予想についても上記の通り修正するものであります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の収束時期の変動といった潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績等は、これらの様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上